

広報 **すぎなみ**



発行/杉並区 編集/広報課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
区の代表電話は ☎3312-2111
FAX 3312-9911(広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

平成12年1/1 NO.1499

1月1日

区からの最新情報をお届けします

杉並区ホームページ本日、本格稼働
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

〈発行日〉毎月1日・11日・21日/ビューすぎなみ・偶数月20日

★4つのHをキーワードに★

重ねた百年を温ね、 新しい杉並の百年を拓こう



杉並区長
山田 宏

みなさま、新年あけましておめでとうございます。

また、昨年は区政運営に何かと協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、今年も西暦でいうと2000年。20世紀最後の年で、来年は新たな世紀が始まります。一年の最後の日は大みそかです。今年も、20世紀の大みそかの年とも言えます。

そう考えますと、今年も20世紀の『大掃除』ならぬ『大改革』を行い、21世紀の『一年の計』ならぬ杉並区の『百年の計』を考へる一年にしたいものです。言いかえしますと、『温故知新の年』、つまり杉並の重ねた百年を温ね、杉並の新たな百年を拓く年としてゆきたいと考えています。

そのため、今年大切にしたいキーワードとして、『華』と『星』と『心』と『健』という四つのH(すべて八行のことば)を提案したいと思っております。

杉並の『華』を
発掘しよう

昨年9月、杉並区の友好協定都市である北海道風連町の『町制百年式典』に参加しました。その中で、町

民の自作自演による『風連の百年』をふり返った演劇は、感動的でした。町民全体で資料や証言を集めて創作し、演じられた舞台そのものに、今日の私たちが忘れてしまった北海道の『フロンティア(開拓者)魂』が脈々と息づいていたので

一方、日本の高校生がタイの山岳民族の若者と交流し、『民族の誇り』について語り合った時、タイの若者が堂々と自分たちの民族の良き、特徴、誇りを次々にあげてゆくのに、日本の若者はほとんど黙まりだっただけという話を聞きました。自分の国や地域に誇りがもてないとしたら、人間としての自分の生き方にも誇りがもてないのではないのでしょうか。

もし、『杉並の自慢は?』とたずねられたら、何と答えますか。二つの川の源流をもつ豊かな自然、豊富な文化的遺産や文化人、様々な先駆的な住民運動の歴史など、自慢できるものはたくさんあるはずではないでしょうか。

今年、『百年を温ねる年』。不景気だ、不安だ、と云ってはいないで、足元を捜すときと未来の発展の種が見つかります。杉並の魅力、杉並の『華』を再評価、再発見、再創造してゆ

きましよう。

杉並の『星』を
つくろう

かつて航海中、船は北極星によって、自分の位置を知りました。『星』はいつも人間に、歩むべき道筋を示してくれました。そして今日のように不安定な時代だからこそ、私たちに夢や理想、ビジョンという『星』が大切だと思いませんか。

今年、杉並区の新たな基本構想となる、『21世紀ビジョン』策定の年です。今審議会を中心に、区民のみなさまからもメールやアンケート、対話集会などあらゆる方法で、ご意見をいただいております。

『百年を温ね、百年を拓く』年として、豊富な『杉並自慢』を発掘し、それを材料に、『本来どうあるべきか』という視点を大切に、新たな杉並の理想、21世紀の杉並の『星』をみなさんと創りたいと思っております。

自らの足で立ち
共に生きる『心』を

今年、区の財政は最大のピンチを迎えます。約一三〇〇億円の予算のうち、一〇〇億円以上が不足すると見込まれています。そこで『世紀の大みそか』である

『健』な杉並へ

この4月1日から、歴史的に見て、新しい杉並区に変わります。まず、地方分権法や都区制度の改革により、『区』が『市』なみの権限をもつことになりま

す。都から移される最大のものは、清掃事業です。次に介護保険制度がスタートしますが、これも各区市町村の特色がでできます。これらの仕事を、円滑にきつちりと取り組み、みなさんの期待や不安にしっかりと応えてゆける区政経営でなければならぬのは、当然です。その上で私は、この機会に、なるべく介護のお世話にならずに健やかに暮らせる『生涯現役』社会づくりに向けてのプランや、プラスチックや生ごみなどのリサイクルを徹底して、『ゴミゼロ』社会をつくるプランを策定し、第一歩を踏み出したいと考えています。井草森公園周辺の環境や健康問題も、来世紀まで引きずるわけにはゆきません。

昨年、西宮中学校でのトイレ掃除に参加した際、PTAの方から、学校に冷水器を備えるために、ベルマークを集めている苦勞話を聞きました。その時に、『仮に、今日のように子どもや先生や親が一体となって、毎週トイレ掃除にとりくめば、業務委託料約五四万円は節約できます。例えばその半額を区にもどしてもらえば、残りで冷水器が買えるのでは?』と提案しました。

行革は苦しい面もありますが、私たちが自らの足で立ち、共に生きる『心』をとりもどすチャンスでもあります。

THE WATER'S EDGE

すぎなみ水辺の風景



妙正寺公園

池や広場がきれいで自然も豊かなところがとても気に入っています。子どもと安心して遊べて、お弁当が食べられるベンチがあるのもいいですね。
星野友美さん・光輝ちゃん



善福寺公園

休みの日は子どもたちとここで過ごします。最近杉並に越してきましたが、水辺に親しめる公園が近くにあるっていいですね。
桂康久さん・祐磨ちゃん・洋登ちゃん

水辺の風景

すぎなみ 21世紀に伝え残そう水と緑

水辺には
人に優しい
風が吹く

花、鳥、動物、
さかなたち
みんな一緒に
生きている

好奇心に輝いた
子どもの瞳に
残したい
そう、水と緑は
宝もの

水辺には
人の優しい
笑顔がある



FUTURE

失われた水辺 — 須賀神社の弁天池

長久保和夫さん（成田西4丁目）、成沢俊一さん（成田東5丁目）

須賀神社（成田東5-29-3）の弁天様の西側、正精寮が建っている所は、私たちが子どもだった昭和20年代ごろまで、今の3倍以上もある大きな池でした。南側の棟がある辺り一帯、寮の西の壁際まであったんじゃないかな。きれいな水にコイが泳いでいてね。周りにはドングリや杉の木が茂っていました。善福寺川から引かれた用水が、その池を通って須賀神社の前の道沿いに流れていたのです。今の弁天様の前にある石橋と溝は、その名残ですよ。この用水でタナゴなどいろんな魚が捕れました。今では想像もつかないことでしょうけどね。

施設管理上の理由から、池は現在公開されていません。



守り伝えたい杉並の遺産 鈴木延子さん（荻窪4丁目）

春日橋から緑地まで、善福寺川に沿った道は、本当にすてきな散歩道です。春は川を覆う桜が美しいし、四季を映す川だと感じます。この地区の景観を考える会での活動をしてきて思いますが、大田黒公園や善福寺川といった水辺もまちなみを生かしているのは間違いありません。川沿いの家の方が大切にしている木の一本一本を含めて、杉並区民皆の大切な遺産である風景を、次の世代の子どもたちに伝えて行きたいと思います。



RIVER

善福寺川の思い出 武井甫進さん（成田西4丁目）

今の善福寺川は桜の名所でもとてもきれいな所ですが、昔は一面の田んぼで、水を引くために川は細かく枝分かれしていました。あのころは毎日のように川で泳いだり、釣りをしたり、ウナギやタナゴもよく捕れました。少し上流に水門があり、そこは腹くらいまでの深さで、泳ぐのにちょうどいいところでした。ほかはもう少し浅くて、流れは緩やかだったので川遊びができました。大雨が降ると、田んぼと道の境がわからなくなるほど川があふれたものですが、今はそんなこともなくなりましたね。当時は生活と密着していた善福寺川ですが、公園になった今は、花見に行くところです。川の水も、ひところに比べてきれいになりました。これからもきれいな川でいてほしいですね。

川の鳥たちと過ごすひととき 阿部幸子さん（西荻北1丁目）



善福寺川の川辺で豆腐屋を始めて30年以上になります。冬の朝は、店を開けると目の前の川で寒そうにしている鳥たちにパンくずをやるのが楽しみです。カモやらシラサギやら、自分の庭に来たみたいでうれしくてね。今は特にえさのない季節だし、人と同じに動物だっておなかすけばつらいでしょう。お休みの日？。決まった休みの日なんてないから、結局毎朝になるときもあります（笑）。夏は夏で水の流れが涼しいし、川のそばもいいですよ。

行事



催し



新春コンサート
なつかしの名曲と
クールジャズの
スタンダードナンバー

【日時】1月29日(土) 午後1時30分～3時30分【会場】永福和泉地域区民センター【出演】オール・オブ・ミー・クラブ【定員】一〇〇名【入場料】一〇〇円

申し込みは、往復八ガキ(記入例参照・二名まで連記可)で、1月20日(必着)までに永福和泉地域区民センター(〒168 0063 和泉3 8 18)へ。

申し込み多数の場合は、抽選。
問い合わせも、同センター ☎5300 9411

杉並区心身障害者級・養護学校連合展示会

児童・生徒の日ごろの学習成果を展示します。

【日時】1月16日(日)、17日(月)午前9時～午後4時(17日は午後3時まで)

【会場】セシオン杉並(梅里1 22 32)【内容】書道、木工、陶芸、美術作品の展示と販売
希望者は、直接会場へ。
問い合わせは、馬橋小学校仲よし学級 ☎3330 1626へ。

八ガキ記入例 (1人1枚)

- ①行事名
- ②住所
- ③氏名(フリガナ)
- ④年齢
- ⑤性別
- ⑥電話番号

往復八ガキには返信用のあて先も記入を
あて先は各記事の申込先
託児(3歳～就学前)のある行事は、託児希望の有無、お子さんの氏名・年齢・性別も記入

講座・講演

**小沢遼子が語る
女性の人生
40歳から!**



明るくパワフルな話で定評のある評論家・小沢遼子さんに、元気が出るトークを展開していただきます。

【日時】2月19日(土) 午後2時30分～4時【会場】セシオン杉並(梅里1 22 32)【定員】八〇名

申し込みは、往復八ガキ(記入例参照)で、2月10日(必着)までに高円寺地域区民センター(〒166 0011 梅里1 22 32)へ。申し込み多数の場合は、抽選。
問い合わせも、同センター ☎3317 6611

新春吉例 大宮前囃子

新年を祝って、おめでたい獅子舞を郷土博物館(大宮1 20 8)の古民家で行います。
大宮前囃子は、宮前に古



くから伝わる民俗芸能で、区の登録文化財です。
【日時】1月9日 午後1時～2時(二回)
【観覧料】一般一〇〇円、小・中学生五〇円
希望者は、直接会場へ。
問い合わせは、郷土博物館 ☎33 17 0841

車での来館は遠慮ください。

障害のある子どもたちのためのボランティア入門

児童館での障害児サポーターボランティアのための入門講座です。
【日時】1月22日(土) 午前10時～正午【会場】上荻児童館(上荻1 20 13)【内容】心身に障害のある子どもたちと、音楽あそびなどを通して交流を図り、障害児の援助を体験する【講師】媚山美緒さん【定員】二〇名程度【参加費】無料

申し込み・問い合わせは、1月5日から電話で児童青少年センター ☎339 34760へ。定員になり次第締め切り。

国民年金は20歳がスタートです

国民年金は、いろいろな世代の国民が、お互いに協力し助け合う相互扶助の制度で、20歳から60歳になるまで加入義務があります。

加入が遅れて保険料を納めずにいると、老後の年金額が減ったり、万一事故で障害者になったとき、障害年金を受給できないことが

あります。未加入の方はすぐに届け出てください。お支払いが困難な方は、免除の制度がありますのでご相談ください。
なお、勤務先で厚生年金や共済組合に加入している方は、加入手続きの必要はありません。
問い合わせは、国民年金課へ。

23区の家ごみの粗大ごみの回収申込みは

粗大ごみ受付センター ☎5296-7000へ

THE WATER'S EDGE

水辺の風景から

▷平成12年新年号ではすぎなみの水辺にスポットをあててみました。区内には本紙で紹介したほかにもたくさんの美しい水辺があります。かつては農業の重要な役割を担い、時には水害をもたらした河川も今は大切な憩いの場となりました。皆様から寄せられた水辺へのさまざまな想いが、この紙面をおして次の世代に少しでも伝えられれば幸いです。紙面の都合でご紹介できなかった皆様を始め、貴重なひとときを本紙取材にご協力いただきましてありがとうございます▷さて昭和26年に第1号の広報紙を発行してから次号で1500号を迎えます。今後も読みやすい紙面と内容でより親しまれる「広報すぎなみ」をめざします。(編)



2～3面の写真の説明

- ① 善福寺公園下池、ハスの咲くころ(5月)
- ② 川面に光る水草(神田川みどり橋付近)
- ③ 川を渡る風に揺れて...(神田川護岸に咲くコスモス)
- ④ 懐かしい土の香りのする道(玉川上水岩通橋～NHKグランド間)
- ⑤ るり色の訪問者(善福寺公園下池のカワセミ・3月)
- ⑥ 善福寺川のはじまるころ(遅野井の滝)
- ⑦ 川面に散る桜(善福寺川、御供米橋付近)
- ⑧ はだしてチャブチャブ(馬橋公園)
- ⑨ 黄菖蒲の咲く神田川(高砂橋付近・5月)
- ⑩ 秋色のじゅうたんは陽をいっぱい集めて...(善福寺公園下池・11月)
- ⑪ 上水沿いの小路～落葉を踏んで...(玉川上水岩通橋付近)
- ⑫ 桜の咲くころ(和田堀公園)
- ⑬ 春の日ざしいっぱいの妙正寺池(5月)
- ⑭ 自然観察で川沿いを歩く子どもたち(神田川)
- ⑮ 夕闇のユーカリ(神田川)

